

# FANTaStIKK 活用マニュアル

1.0.10

FANTaStIKK制作者一同著

刊行日：20110125

## はじめに

この度は「FANTaStIKK」をお使いいただき、ありがとうございます。

このアプリケーションはJepax文書をなるべく簡単にPDFやEPUB変換する事を目的としたツールです。

現時点のFANTaStIKKの最新バージョンは1.0.10です。今後も、機能追加や不具合改修など、バージョンアップを進めていく予定です。

FANTaStIKKが現在対応しているスキーマは、「JepaX」のみです。JepaX（ジェパエックス）は日本電子出版協会（JEPA）が開発した電子出版交換用のフォーマットです。JepaXの仕様は、<http://www.jepax.org/>をご参照ください。このマニュアルは、FANTaStIKKについて解説したものであり、JepaXの仕様の解説はありません。

## 注意事項

このソフトウェアの使用によって何らかの損害（データの消失、機器の破損等）が生じた場合、制作者は一切その責任を負いません。あらかじめ御了承ください。

このソフトウェアはフリーウェアです。使用料金／寄付等は必要ありません。本ソフトウェアはApache License Version 2.0に基づいてライセンスされます。ライセンスに関しては、licencesフォルダ／FANTaStIKKフォルダ／license\_apache\_JP.txtファイルを参照してください。

本ソフトウェアには、Apache Software Foundation (<http://www.apache.org/>)において開発されたソフトウェアが含まれます。

本ソフトウェアには、IPA（独立行政法人情報処理推進機構）(<http://www.ipa.go.jp/>)において開発されたソフトウェアが含まれます。

本ソフトウェアには、Saxonica Limited (<http://www.saxonica.com/>)において開発されたソフトウェアが含まれます。

本ソフトウェアが含む各ソフトウェアのライセンスや注意事項については、licencesフォルダ以下にある各種ドキュメントをご覧ください。

## FANTaStIKK制作者について

FANTaStIKKは、任意団体XMLコンソーシアム／クロスメディアパブリッシング部会（CMP部会）メンバーのうち、以下の8名が制作しました。

藤島美穂

青木昭二

西河貴史

田崎勇二

佐藤肇

伊藤琢巳

K・K

桑野和行

FANTaStIKKという名称は、この8名の名前のイニシャルのアナグラムです。

なお、XMLコンソーシアムは、2010年3月末に解散しました。CMP部会メンバーの一部は、同年4月より活動の場をJAGAT XMLパブリッシング準研究会に移しました。今回のFANTaStIKK1.0.10は、JAGAT XMLパブリッシング準研究会が公開するものです。

JAGATは社団法人日本印刷技術協会（Japan Association of Graphic Arts Technology）の略称で、印刷および関連産業の発展、貢献を目的として1967年に創立された経済産業省（旧通商産業省）所管の公益法人です。印刷会社、メーカー、メディア関連企業など約1000社が会員企業となっています。JAGATは印刷産業のシンクタンクとして、印刷ならびに周辺分野の技術、メディア動向、そしてビジネス、経営戦略まで調査・研究、ならびに提言活動を行っており、また教育機関として人材育成の機会提供、DTPエキスパートなど資格制度の運営を行っています。詳細はWebサイト（<http://www.jagat.jp/>）をご覧ください。

## 謝辞

FANTaStIKKおよびそれに付随する資料の作成に際して、XMLパブリッシング（準）研究会およびクロスメディアパブリッシング部会の以下の方々に多大なるご協力をいただきました（敬称略・五十音順）。

奥田光江  
小野雅史  
金子純朗  
清原邦彦  
木龍美代子  
佐藤誠  
菅井康之  
関真之  
長谷川香  
古門正明  
正木伸繁  
吉田淳

## 最新情報と連絡先

FANTaStIKKの最新情報に関しては以下のサイトをご確認ください。

<http://sites.google.com/site/fantastikk2010/>

FANTaStIKKに関してのご連絡は以下までお願いします。

連絡先：FANTaStIKK制作者一同

fantastikk.2010@gmail.com

# 目次

はじめに.....	2
注意事項.....	3
FANTaStIKK制作者について.....	4
謝辞.....	5
最新情報と連絡先.....	6
第1部 概要.....	16
第1篇 FANTaStIKKでできること.....	16
第2篇 FANTaStIKK1.0.0から1.0.10でバージョンアップした内容.....	16
第3篇 フォルダ構成.....	16
第4篇 FANTaStIKKを使用するための設定.....	17
第1章 FANTaStIKKシステム要件.....	17
第2章 FANTaStIKKのインストール／アンインストール.....	17
第1節 FANTaStIKKのインストール.....	17
第2節 FANTaStIKKのアンインストール.....	18
第3章 Java Runtime Environment (JRE)のインストール.....	18
第1節 Windowsの場合.....	18
第2節 Mac OS Xの場合.....	18
第4章 組版プロセッサを変更する.....	19
AH XSL Formatterを組版プロセッサとして使用する.....	19
第5章 既知の問題.....	19
第5篇 プログラムの起動方法.....	19
第6篇 操作方法.....	20
第1章 操作画面.....	20
第2章 「ファイル」メニュー.....	21
第3章 「編集」メニュー.....	22
第1節 プリセットでEPUB出力を選択した場合.....	22
第2節 プリセットでEPUB出力以外を選択した場合.....	22
第4章 「その他」メニュー.....	23
第1節 環境設定.....	23
第1項 XSL-FO/PDFへの変換.....	24
第2項 EPUBへの変換.....	24
第3項 共通.....	24
第2節 ログのクリア.....	25
第3節 バージョン情報の表示.....	25
第5章 ツールバーについて.....	26
第1節 EPUB/FO・PDF 共通のツールバー.....	26
第2節 プリセットでEPUBを選択した場合のみ使用できるツールバー.....	26
第3節 プリセットでEPUB以外を選択した場合のみ使用できるツールバー.....	27
第7篇 プリセット.....	27
第8篇 EPUBを見るには.....	28
第1章 EPUBのビューワについて.....	28
第2章 FANTaStIKKで生成したEPUBをAdobe Digital Editionsでブラウズした際の不具合について.....	29
第2部 EPUB出力.....	30
第1篇 全体.....	30
第1章 ID.....	30
第2章 背景の色.....	30
第3章 文字の色.....	30

第4章	天地の余白.....	30
第5章	左右の余白.....	31
第6章	背景画像.....	31
第7章	背景画像の並べ方.....	31
第8章	表紙.....	31
第9章	カテゴリ.....	31
第10章	概要.....	31
第11章	権利.....	31
第2篇	目次.....	31
第1章	以下の項目を目次として使用する.....	32
第3篇	論理構造単位要素(div).....	32
第1章	論理構造単位要素の種類.....	32
第2章	論理構造単位要素ごとに設定できる書式項目.....	33
第1節	文字サイズ.....	33
第2節	行の高さ.....	33
第3節	前段落との空き.....	33
第4節	後段落との空き.....	33
第5節	左インデント.....	33
第6節	右インデント.....	33
第7節	行の揃え方.....	34
第8節	背景画像.....	34
第9節	背景画像の並べ方.....	34
第4篇	インライン要素.....	34
第1章	ルビ(ruby).....	34
第1節	ルビのスタイル.....	34
第2節	ルビの括弧スタイル.....	35
第2章	割注(mlg).....	35
第1節	割注の括弧のスタイル.....	35
第3章	インライン画像.....	35
第1節	画像に対する天地方向の文字の揃え方.....	35
第5篇	図(float).....	35
第1章	図版全般.....	36
第1節	画像の基準パス:.....	36
第2節	図の揃え方.....	36
第2章	キャプション.....	36
第1節	表示位置.....	36
第2節	文字サイズ.....	36
第3節	行の高さ.....	36
第4節	行の揃え方.....	36
第3章	図版.....	37
第1節	罫巻の種類.....	37
第2節	罫巻の色.....	37
第3節	罫巻の太さ.....	37
第4節	罫巻と図版との間隔.....	37
第5節	背景色.....	37
第6篇	表(table).....	37
第1章	表全体.....	38
第1節	表の幅.....	38



第2節	文字サイズ.....	38
第3節	外罫の種類.....	38
第4節	外罫の色.....	38
第5節	外罫の太さ.....	38
第6節	隣接するセルの罫.....	39
第7節	列幅のレイアウト.....	39
第2章	キャプション.....	39
第1節	表示位置.....	39
第2節	文字サイズ.....	39
第3節	行の高さ.....	39
第4節	行の揃え方.....	39
第3章	見出しセル・セル.....	40
第1節	文字サイズ.....	40
第2節	行の高さ.....	40
第3節	テキストとセルとの間隔.....	40
第4節	テキストの水平配置.....	40
第5節	テキストの天地配置.....	40
第6節	罫の種類.....	40
第7節	罫の色.....	41
第8節	罫の太さ.....	41
第9節	背景色.....	41
第7篇	リスト.....	41
第1章	ラベル全体.....	41
第1節	罫の種類.....	41
第2節	罫の色.....	42
第3節	罫の太さ.....	42
第4節	罫とテキストの間隔.....	42
第2章	文字設定.....	42
第1節	文字サイズ.....	42
第2節	行の高さ.....	42
第3節	行の揃え方.....	42
第3章	順序なしリスト(ul).....	42
第1節	ラベル.....	43
第4章	順序付きリスト(ol).....	43
第1節	ラベル.....	43
第5章	定義リスト(dl).....	43
第1節	ラベルとボディの開始位置の間隔.....	43
第2節	ラベルとボディの間隔.....	43
第8篇	整形済みテキスト(pre).....	43
第1章	テキスト.....	44
第1節	文字サイズ.....	44
第2節	行の高さ.....	44
第3節	左インデント.....	44
第4節	右インデント.....	44
第2章	背景.....	44
第1節	背景の罫線の種類.....	45
第2節	背景の罫線の色.....	45
第3節	背景の罫線の太さ.....	45

第4節 枠とテキストとの間隔.....	45
第5節 背景色.....	45
第3部 PDF出力.....	46
第1篇 全体.....	46
第1章 誌面のサイズ.....	46
第2章 天地の余白.....	47
第3章 左右の余白.....	47
第4章 開始ページ.....	47
第5章 ページ番号のフォント.....	47
第6章 ページ番号の文字サイズ.....	47
第7章 ページ番号の左右位置.....	47
第8章 ページ番号の文字サイズ.....	48
第9章 組み方向.....	48
第10章 段組の数.....	48
第11章 段組間の距離.....	48
第12章 終了ページ.....	48
第13章 白黒反転.....	48
第2篇 表紙(bookinfoまたはtype属性が「表紙」のdiv).....	49
第1章 表紙全般.....	49
第1節 表紙にbookinfoの情報・div[@type='表紙']のいずれの情報を使うか.....	49
第2章 bookinfo／デザイン.....	49
第1節 bookinfo表紙タイトル・サブタイトルの枠囲み.....	49
第2節 タイトルの誌面上端からの距離.....	50
第3節 タイトルの誌面左右からの距離.....	50
第4節 枠の線種.....	50
第5節 枠の色.....	50
第6節 枠の線の太さ.....	50
第7節 枠とタイトルとの間隔.....	50
第3章 bookinfo／タイトル・サブタイトル・その他の情報.....	50
第1節 タイトル部分との空き.....	51
第2節 フォント.....	51
第3節 文字サイズ.....	51
第4節 行の高さ.....	51
第5節 タイトルとの空き.....	52
第6節 行の揃え方.....	52
第7節 最終行の揃え方.....	52
第8節 版面の端からの左右のマージン.....	52
第4章 div表紙.....	52
第1節 フォント.....	52
第2節 文字サイズ.....	53
第3節 行の高さ.....	53
第4節 前段落との空き.....	53
第5節 後段落との空き.....	53
第6節 左インデント.....	53
第7節 右インデント.....	53
第8節 行の揃え方.....	53
第9節 最終行の揃え方.....	54
第10節 終了後改ページ.....	54

第3.1篇 論理構造単位要素(div)／プリセット「マニュアル」.....	54
第1章 論理構造単位要素の種類.....	54
第2章 グループ設定.....	55
第3章 論理構造単位要素ごとに設定できる書式項目.....	55
第1節 フォント.....	56
第2節 文字サイズ.....	56
第3節 行の高さ.....	56
第4節 前段落との空き.....	56
第5節 後段落との空き.....	56
第6節 左インデント.....	57
第7節 右インデント.....	57
第8節 行の揃え方.....	57
第9節 最終行の揃え方.....	57
第10節 改ページして開始.....	57
第11節 終了後改ページ.....	57
第4章 デフォルト.....	58
第5章 目次出力.....	58
第1節 目次部分の出力.....	58
第2節 目次のリーダー罫.....	58
第3節 罫線の種類.....	58
第4節 罫線の太さ.....	59
第3.2篇 論理構造単位要素(div)／プリセット「学会誌」.....	59
第4篇 見出し(head)と注(note).....	59
第1章 見出し(head).....	59
第1節 本文と同じページにする.....	59
第2節 見出し部途中で改ページ.....	60
第3節 行の高さ.....	60
第4節 後段落との空き.....	60
第5節 左インデント(本文に対して).....	60
第6節 右インデント(本文に対して).....	60
第7節 行の揃え方.....	61
第8節 最終行の揃え方.....	61
第9節 終了後改ページ.....	61
第2章 見出し部のナンバー(no).....	61
第1節 フォント.....	61
第2節 文字サイズ.....	61
第3章 見出し部のタイトル(title).....	61
第1節 フォント.....	62
第2節 文字サイズ.....	62
第3節 ナンバーとタイトルとの間隔.....	62
第4章 見出し部のサブタイトル(subtitle).....	62
第1節 フォント.....	62
第2節 文字サイズ.....	62
第3節 行の高さ.....	62
第4節 前段落との空き.....	62
第5節 後段落との空き.....	63
第6節 左インデント(本文に対して).....	63
第7節 右インデント(本文に対して).....	63

第8節	行の揃え方.....	63
第9節	最終行の揃え方.....	63
第10節	終了後改ページ.....	63
第5章	見出し部の著者(author).....	64
第1節	フォント.....	64
第2節	文字サイズ.....	64
第3節	行の高さ.....	64
第4節	前段落との空き.....	64
第5節	後段落との空き.....	64
第6節	左インデント(本文に対して).....	64
第7節	右インデント(本文に対して).....	65
第8節	行の揃え方.....	65
第9節	最終行の揃え方.....	65
第10節	終了後改ページ.....	65
第6章	注(note).....	65
第1節	フォント.....	65
第2節	文字サイズ.....	66
第3節	行の高さ.....	66
第4節	前段落との空き.....	66
第5節	後段落との空き.....	66
第6節	左インデント(本文に対して).....	66
第7節	右インデント(本文に対して).....	66
第8節	行の揃え方.....	67
第9節	最終行の揃え方.....	67
第10節	終了後改ページ.....	67
第5篇	インライン要素.....	67
第1章	強調(em).....	67
第1節	フォント.....	68
第2節	文字サイズ.....	68
第3節	フォントの色.....	68
第2章	ルビ(ruby).....	68
第1節	ルビのスタイル.....	68
第2節	ルビの括弧スタイル*.....	69
第3節	ルビの括弧の文字サイズ*.....	69
第4節	ルビ文字の文字サイズ*.....	69
第5節	ルビ文字の揃え方.....	69
第3章	割注(mlg).....	69
第1節	割注のスタイル.....	69
第2節	割注の括弧のスタイル.....	69
第3節	割注の括弧の文字サイズ.....	70
第4節	割注内の文字サイズ.....	70
第4章	上付・下付.....	70
第1節	上付文字の文字サイズ.....	70
第2節	下付文字の文字サイズ.....	70
第6篇	図(float).....	70
第1章	図版全般.....	71
第1節	画像の基準パス:.....	71
第2節	前段落との空き.....	71

第3節	後段落との空き	71
第4節	図の揃え方	71
第5節	描画方法	72
第6節	終了後改ページ	72
第2章	キャプション	72
第1節	表示位置	72
第2節	図の幅で折り返す/折り返さない	72
第3節	フォント	72
第4節	文字サイズ	73
第5節	1行目の行頭インデント	73
第6節	行の高さ	73
第7節	行の揃え方	73
第3章	図版	73
第1節	罫巻の種類	73
第2節	罫巻の色	73
第3節	罫巻の太さ	74
第4節	罫巻と図版との間隔	74
第5節	画像サイズ	74
第6節	背景色	74
第7篇	表(table)	74
第1章	表全体	74
第1節	表の幅	75
第2節	文字サイズ	75
第3節	前段落との空き	75
第4節	後段落との空き	75
第5節	外罫の種類	75
第6節	外罫の色	75
第7節	外罫の太さ	76
第8節	表内改ページ	76
第9節	終了後改ページ	76
第2章	キャプション	76
第1節	表示位置	76
第2節	表の幅で折り返す/折り返さない	76
第3節	フォント	77
第4節	文字サイズ	77
第5節	行の高さ	77
第6節	1行目の行頭インデント	77
第7節	行の揃え方	77
第3章	見出し列	77
第1節	見出し列の幅	77
第4章	見出しセル・セル	78
第1節	フォント	78
第2節	文字サイズ	78
第3節	行の高さ	78
第4節	テキストとセルとの間隔	78
第5節	テキストの水平配置	78
第6節	テキストの天地配置	78
第7節	罫の種類	79

第8節 罫の色.....	79
第9節 罫の太さ.....	79
第10節 背景色.....	79
第8篇 リスト.....	79
第1章 ラベル全体.....	79
第1節 罫の種類.....	80
第2節 罫の色.....	80
第3節 罫の太さ.....	80
第4節 罫とテキストの間隔.....	80
第5節 天地の余白.....	80
第6節 左右の余白.....	80
第7節 改ページして開始.....	80
第8節 終了後改ページ.....	81
第9節 前段落との空き.....	81
第10節 後段落との空き.....	81
第2章 文字設定.....	81
第1節 フォント.....	81
第2節 文字サイズ.....	81
第3節 行の高さ.....	82
第4節 行の揃え方.....	82
第5節 最終行の揃え方.....	82
第3章 順序なしリスト(ul).....	82
第1節 ラベル.....	82
第4章 順序付きリスト(ol).....	82
第1節 ラベル.....	82
第2節 ラベルとボディの開始位置の間隔.....	82
第3節 ラベルとボディの間隔.....	83
第5章 定義リスト(dl).....	83
第1節 ラベルとボディの開始位置の間隔.....	83
第2節 ラベルとボディの間隔.....	83
第9篇 整形済みテキスト(pre).....	83
第1章 テキスト.....	83
第1節 フォント.....	83
第2節 文字サイズ.....	84
第3節 行の高さ.....	84
第4節 前段落との空き.....	84
第5節 後段落との空き.....	84
第6節 左インデント.....	84
第7節 右インデント.....	84
第8節 終了後改ページ.....	85
第2章 背景.....	85
第1節 背景の罫線の種類.....	85
第2節 背景の罫線の色.....	85
第3節 背景の罫線の太さ.....	85
第4節 枠とテキストとの間隔.....	85
第5節 背景色.....	85
第10篇 PDF設定.....	86
第1章 Apache FOP用のPDF出力のオプション.....	86

第1節	文書を開くパスワード.....	86
第2節	権限パスワード.....	86
第3節	印刷不可にする.....	86
第4節	変更不可にする.....	86
第5節	コピー不可にする.....	87
第6節	注釈やフォーム追加を不可にする.....	87
第2章	AH Formatter用のPDF出力のオプション.....	87

## 第1部 概要

### 第1篇 FANTaStIKKでできること

FANTaStIKKはJepaXのドキュメントをPDFやXSL-FO・EPUBに変換することができます。

また、体裁の設定を「プリセット」として管理します。この「プリセット」を切り替えるだけで文書の体裁を変更できます。

### 第2篇 FANTaStIKK1.0.0から1.0.10でバージョンアップした内容

- ・ EPUB出力を可能にしました。
- ・ スタイルシートの不具合の修正を行いました。
- ・ メニューバーから行っていた操作がGUI上からもできるようにしました。
- ・ プリセットの構成や設定の見直しを行いました。

### 第3篇 フォルダ構成

ここにあるフォルダやファイルを削除・移動しないでください。FANTaStIKKが動作しなくなります。

```
FANTaStIKK_1.0.10 (フォルダ)
├─ conf (設定ファイルを格納するフォルダ)
│   ├── configuration.xml (初回起動時に作成されます)
│   └── fop.xconf (FOPの設定ファイル)
├─ FANTaStIKK.app (Mac OS X 用の 実行ファイル)
├─ FANTaStIKK.exe (Windows 用の 実行ファイル)
├─ FANTaStIKK.jar (実行可能 JAR ファイル、全環境用)
├─ fonts (フォントファイルを格納するフォルダ)
│   ├── Hipag.ttf
│   ├── Hipagp.ttf
│   ├── Hipagui.ttf
│   ├── Hipam.ttf
│   └── Hipamp.ttf
├─ lib (動作に必要な JAR ファイルを格納するフォルダ)
│   ├── ant.jar
│   ├── avalon-framework-4.2.0.jar
│   ├── batik-all-1.7.jar
│   ├── commons-io-1.3.1.jar
│   ├── commons-logging-1.0.4.jar
│   ├── fop.jar
│   ├── saxon9he.jar
│   ├── serializer-2.7.0.jar
│   ├── velocity-1.6.3-dep.jar
│   ├── xalan-2.7.0.jar
│   ├── xercesImpl-2.7.1.jar
│   ├── xml-apis-1.3.04.jar
│   └── xmlgraphics-commons-1.3.1.jar
├─ preset (各種プリセットを格納するフォルダ)
│   └── epub.xml (EPUB用プリセット)
```



```

| └epub_reversal.xml (EPUB白黒反転用プリセット)
| └journal.xml (学会誌用プリセット)
| └kakudai_18pt.xml (拡大図書18ポイント)
| └kakudai_18pt_reversal.xml (拡大図書18ポイント白黒反転)
| └kakudai_22pt.xml (拡大図書22ポイント)
| └kakudai_22pt_reversal.xml (拡大図書22ポイント白黒反転)
| └kakudai_26pt.xml (拡大図書26ポイント)
| └kakudai_26pt_reversal.xml (拡大図書26ポイント白黒反転)
| └manual.xml (マニュアル用のプリセット)
└ReadMe.txt (「はじめにお読みください」ファイル)
└schema (参照する文書構造を格納するフォルダ)
  └dtd
└src (ソースコードを格納するフォルダ)
  └fantastikk
└stylesheet (スタイルシートを格納するフォルダ)
  └epub
  └fo
└template (CSSを格納するフォルダ)
  └epub
└tmp (一時ファイルを格納するフォルダ)

```

## 第4篇 FANTaStIKKを使用するための設定

### 第1章 FANTaStIKKシステム要件

FANTaStIKKは以下の条件で動作確認をしています。

Windows	Windows XP Windows Vista Windows 7
Mac OS X	Mac OS X v10.4 (Tiger) <sup>※</sup> Mac OS X v10.5 (Leopard) Mac OS X v10.6 (Snow Leopard)
Linux	Fedora 10 Fedora 11 Fedora 12

※ ソフトウェア・アップデートでMacOS X 10.4.11 (Java 1.5.0\_19)以上にアップデートしてください。

### 第2章 FANTaStIKKのインストール／アンインストール

#### 第1節 FANTaStIKKのインストール

ダウンロードしたZIPファイルを解凍してください。解凍して得られるフォルダ(FANTaStIKKフォルダ)は好きな場所においてかまいません。

## 第2節 FANTaStIKKのアンインストール

FANTaStIKKフォルダごとアプリケーションを削除してください。OSに設定ファイルなどを書き込むことはない  
ので、この手順のみでアンインストールできます。

## 第3章 Java Runtime Environment (JRE) のインストール

実行には JRE バージョン 1.5 以上が必要です。

### 第1節 Windowsの場合

①はじめにオラクル株式会社のWebサイトでお使いのパソコン内にJavaがインストールされているかチェック  
します。

<http://www.java.com/ja/download/installed.jsp>

上記サイトにアクセスすると、下記画面が立ち上がりますので「Javaのバージョンの確認」のボタンを押しま  
す。



②JREがインストールされていない場合は上のダウンロードの文字をクリックし最新のJavaを入手してパソコ  
ン内にインストールしてください。

③既にインストールされている場合は、「Java のバージョンを確認しました。正常な設定です。お使いのオ  
ペレーティングシステムに推奨されたバージョン (Version X) の Java がインストールされています。」とコ  
メントが表示されます。

### 第2節 Mac OS Xの場合

第1章 FANTaStIKKシステム要件 に記載された条件 (MacOS X 10.4.11以降) を満たしていればインストール済  
みですので、確認は不要です。

## 第4章 組版プロセッサを変更する

### AH XSL Formatterを組版プロセッサとして使用する

インストールした時点ではApache FOPのみが使えます。FOPはFANTaStIKKに同梱されています。別途追加すればAH XSL Formatterが選択できるようになります。AH XSL Formatterを使用するとApatch FOPよりも高度な組版を行うことができます。メニューバーから [編集]→[設定ウィンドウを開く]を選び設定ウィンドウを開きます。組版プロセッサをFOPからAH XSL Formatterに変更します。

	Apache FOP	AH XSL Formatter
縦書き	×	○
行末揃え	×	○
ルビ	×	○
CMYK	×	○
価格	無料	有料

Apache FOPとAH XSL Formatterの違い

FANTaStIKKで使えるAH XSL FormatterはアンテナハウスのAH Formatterファミリーのひとつです。FANTaStIKKで使えるのはAH XSL Formatterになります。AH CSS Formatterでは動作しません。詳しくはアンテナハウス株式会社のサイトにて確認してください。  
<http://www.antenna.co.jp/AHF/purchase.html>

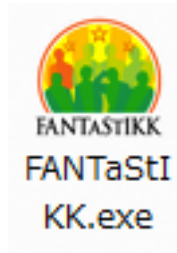
## 第5章 既知の問題

FANTaStIKKで確認されている問題を掲載します。

問題	対応予定
Open Type Fontが使用できない。	対応予定あり
CID Fontが使用できない。	対応予定なし
AH XSL Formatterを使用したとき、FANTaStIKKのGUI上でフォントの指定ができない。	対応予定あり

## 第5篇 プログラムの起動方法

- Windowsの場合：  
FANTaStIKK.exeをダブルクリックしてください。



Windows用実行ファイルのアイコン

- ・ MacOS X の場合：  
FANTaStIKK.appをダブルクリックしてください。



MacOS X用実行ファイルのアイコン

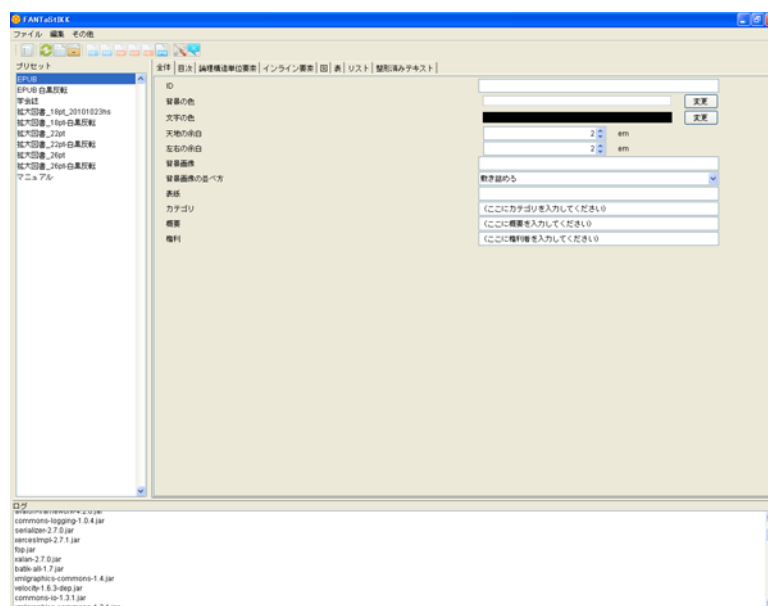
- ・ その他の環境の場合：  
FANTaStIKK.jarのあるフォルダ(ディレクトリ)に移動し、以下のコマンドを入力してください。

```
java -jar FANTaStIKK.jar -Xms256m -Xmx256m
```

## 第6篇 操作方法

### 第1章 操作画面

プログラムを起動すると、操作画面のウィンドウが表示されます。



操作画面のウィンドウ

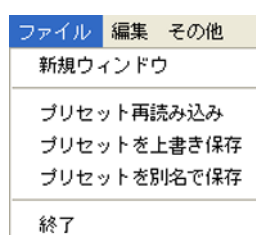
ウィンドウの左側にはプリセットのリストが表示されます。選択することでプリセットの切り替えを行うことができます。プリセットとは、予め用意された、組版設定の雛型です。

ウィンドウの右側には現在選択されているプリセットの設定値が表示されます。ここで設定値の変更を行うことができます。設定値を変更後に組版を行うと、変更した設定を組版結果に反映することができます。

ウィンドウの下部には操作時のログが出力されます。

## 第2章 「ファイル」メニュー

「ファイル」メニューからは以下の操作が選択できます。



「ファイル」メニュー

新規ウィンドウ	新しいウィンドウを開きます。
プリセットファイル再読み込み	プリセットの表示内容を最新状態に更新することができます。ただし、現在のプリセットの選択状態は初期値にリセットされます。
プリセットを上書き保存	現在のプリセットの選択状態と同じ名前のプリセットとして保存します。保存後に「プリセットファイル再読み込み」を行うことで、設定を変更した同じ名前のプリセットを表示できます。

プリセットを別名で保存	現在のプリセットの選択状態を別のプリセットとして保存します。保存後に「プリセットファイル再読み込み」を行うことで、保存した新しいプリセットを表示できます。
-------------	---

終了	FANTaStIKKを終了します。
----	-------------------

## 第3章 「編集」メニュー

「編集」メニューからは以下の操作が選択できます。

### 第1節 プリセットでEPUB出力を選択した場合



EPUB対応の「編集」メニュー

XMLからEPUBを生成	JepaX文書のファイルからEPUB形式のファイルを出力します。JepaX文書のファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。
--------------	--

### 第2節 プリセットでEPUB出力以外を選択した場合



FO・PDF対応の「編集」メニュー

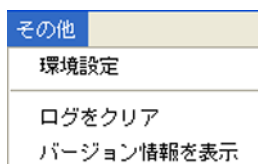
XMLからFOを生成	JepaX文書のファイルからFormatting Objects(FO)形式のファイルを出力します。JepaX文書のファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。
------------	--

XMLからPDFを生成	JepaX文書のファイルからPDF形式のファイルを出力します。JepaX文書のファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。設定によっては、処理後に自動でPDFファイルが開きます。
-------------	---

FOからPDFを生成	FOのファイルからPDF形式のファイルを出力します。FOのファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。設定によっては、処理後に自動でPDFファイルが開きます。
FOからRTFを生成	FOのファイルからRTF形式のファイルを出力します。FOのファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。
FOの内容を表示	FOのファイルから組版結果を画面で表示します。ファイルは出力されません。FOのファイルを指定する必要があります。

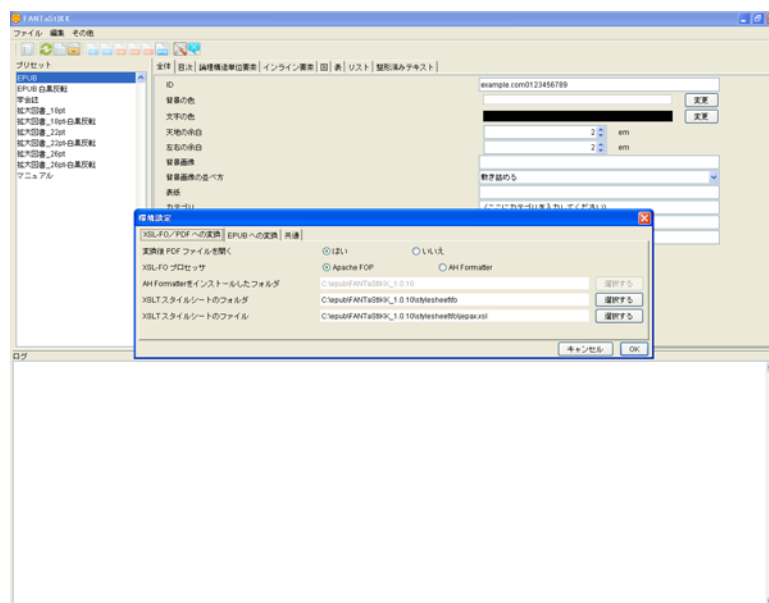
## 第4章 「その他」メニュー

「その他」メニューからは、「環境設定」「ログのクリア」「バージョン情報の確認」の操作や確認が行えます。



「その他」メニュー

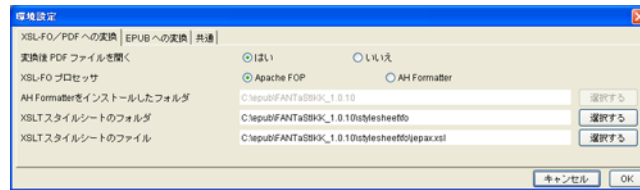
### 第1節 環境設定



「環境設定」メニュー

「環境設定」メニューからは、「XSL-F0/PDFへの変換」「EPUBへの変換」「共通」の設定が行えます。ただし、基本的には変更する必要はありません。

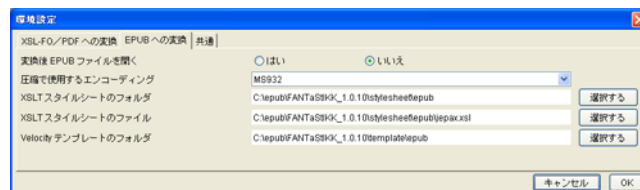
## 第1項 XSL-FO/PDFへの変換



「XSL-FO/PDFへの変換」メニュー

- ・ 変換後PDFファイルを開く(デフォルトは「はい」)
- ・ XSL-FOプロセッサ(Apache FOPまたはAH Formatter)(デフォルトはApache FOP)
- ・ AH Formatterをインストールしたフォルダ
- ・ XSLTスタイルシートのフォルダ(通常は設定変更不要)
- ・ XSLTスタイルシートのファイル(通常は設定変更不要)

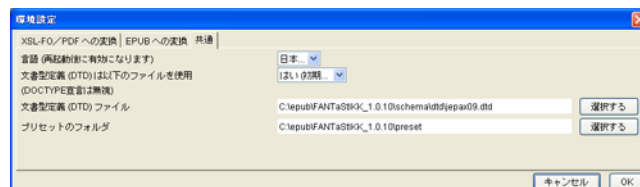
## 第2項 EPUBへの変換



「EPUBへの変換」メニュー

- ・ 変換後EPUBファイルを開く(デフォルトは「はい」)
- ・ 圧縮で使用するエンコーディング(デフォルトは「MS932」)
- ・ XSLTスタイルシートのフォルダ(通常は設定変更不要)
- ・ XSLTスタイルシートのファイル(通常は設定変更不要)
- ・ Velocityテンプレートのフォルダ(通常は設定変更不要)

## 第3項 共通



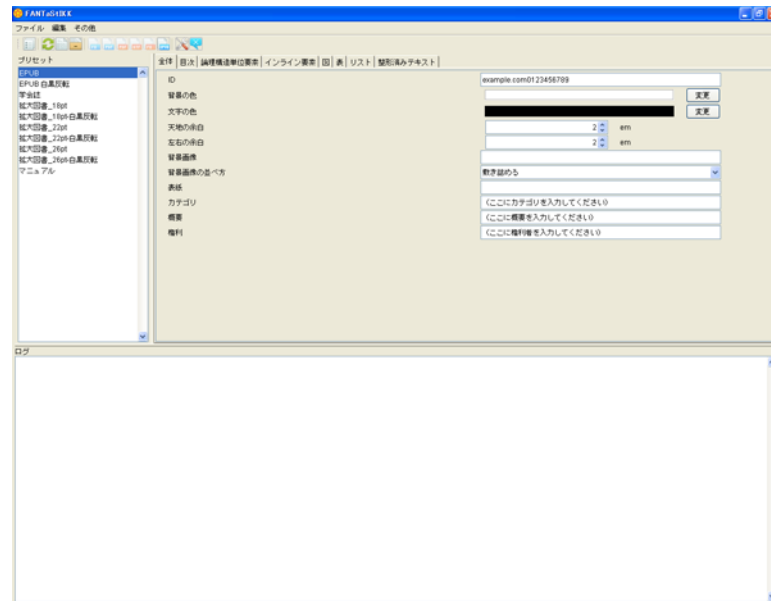
「共通」メニュー

- ・ 言語(デフォルトは「日本語」) 再起動後に有効な設定になります
- ・ 文書型定義(DTD)は以下のファイルを使用(デフォルトは「はい」)
- ・ 文書型定義(DTD)ファイル(通常は設定変更不要)



- ・ プリセットのフォルダ(通常は設定変更不要)

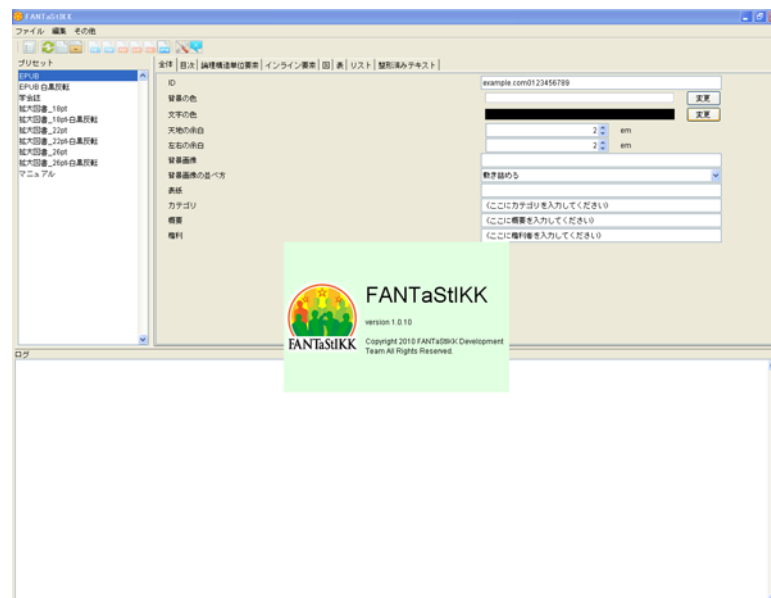
## 第2節 ログのクリア



ログクリア後の画面

「ログクリア」を選択すると画面下に表示されていたログが消去されます。

## 第3節 バージョン情報の表示



バージョンの表示画面

「バージョン情報の表示」を選択すると現在お使いの「FANTaStiKK」のバージョンが表示されます。

## 第5章 ツールバーについて

メニューの下にありますツールバーの説明します。よく利用する操作が簡単に行えます。

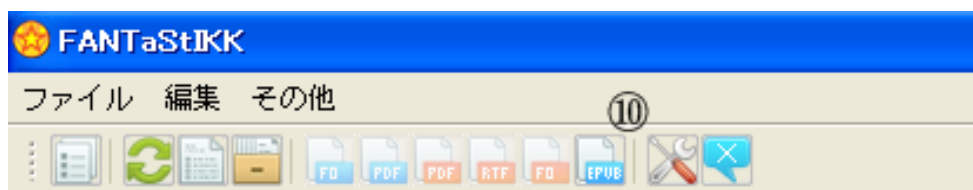
### 第1節 EPUB/FO・PDF 共通のツールバー



共通で利用できるツールバー

新規ウィンドウ(①)	新しいウィンドウを開きます。
プリセットファイル再読み込み(②)	プリセットの表示内容を最新状態に更新することができます。ただし、現在のプリセットの選択状態は初期値にリセットされます。
プリセットを上書き保存(③)	現在のプリセットの選択状態と同じ名前のプリセットとして保存します。保存後に「プリセットファイル再読み込み」を行うことで、設定を変更した同じ名前のプリセットを表示できます。
プリセットを別名で保存(④)	現在のプリセットの選択状態を別のプリセットとして保存します。保存後に「プリセットファイル再読み込み」を行うことで、保存した新しいプリセットを表示できます。
環境設定(⑪)	「環境設定」メニューからは、「XSL-FO/PDFへの変換」「EPUBへの変換」「共通」の設定が行えます。ただし、基本的には変更する必要はありません。詳細は第4章第1節「環境設定」で確認してください。
ログのクリア(⑫)	「ログクリア」を選択すると画面下に表示されていたログが消去されます。

### 第2節 プリセットでEPUBを選択した場合のみ使用できるツールバー



EPUB出力で利用可能なツールバー

XMLからEPUBを生成 (⑩)	JepaX文書のファイルからEPUB形式のファイルを出力します。JepaX文書のファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。
---------------------	--

## 第3節 プリセットでEPUB以外を選択した場合のみ使用できるツールバー

プリセットでEPUB以外を選択した場合利用できるツールバーの説明をします。



EPUB以外の出力で利用可能なツールバー

XMLからFOを生成 (⑤)	JepaX文書のファイルからFormatting Objects(FO)形式のファイルを出力します。JepaX文書のファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。
-------------------	--

XMLからPDFを生成 (⑥)	JepaX文書のファイルからPDF形式のファイルを出力します。JepaX文書のファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。設定によっては、処理後に自動でPDFファイルが開きます。
--------------------	---

FOからPDFを生成 (⑦)	FOのファイルからPDF形式のファイルを出力します。FOのファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。設定によっては、処理後に自動でPDFファイルが開きます。
-------------------	---

FOからRTFを生成(⑧)	FOのファイルからRTF形式のファイルを出力します。FOのファイルと、出力ファイル名を指定する必要があります。
---------------	---

FOの内容を表示(⑨)	FOのファイルから組版結果を画面で表示します。ファイルは出力されません。FOのファイルを指定する必要があります。
-------------	--

## 第7篇 プリセット

プリセットとは、FANTaStiKKで組版する際に利用できる紙面設定の雛型です。この雛型をそのまま使うこともできますし、雛型の設定値を変更して使うこともできます。プリセットとして予め以下のものが用意されています。

名前	説明
EPUB（通常/白黒反転）	EPUB出力用のプリセットです。EPUB白黒反転を選ぶことで白黒反転も指定できます。
学会誌	学会誌の組版向けのプリセットです。
拡大図書（18・22・26pt/通常・白黒反転）	弱視の方向けの文書の組版用プリセットです。弱視の方が読みやすい文書とするために、フォントをゴシック体、フォントサイズを18pt、22ptあるいは26ptと大きくしています。「kakudai18pt_reversal」、「kakudai22pt_reversal」と「kakudai30pt_reversal」では白黒反転の設定も指定しています。
マニュアル	マニュアルの組版向けのプリセットです。FANTaStiKK活用マニュアル（このドキュメント）の組版にも使用しています。

プリセットの一覧

各プリセットの設定項目の詳細に関しては第2部「EPUB出力」、第3部「PDF出力」を参照してください。

プリセットの実体はpreset フォルダの中のXMLファイルであり、ユーザがカスタマイズすることが可能です。プリセットのXMLファイルの書式については同梱の「プリセットについて.pdf」を参照してください。

## 第8篇 EPUBを見るには

FANTaStiKKで作成されたEPUB形式のファイルを閲覧するにはEPUBビューワが必要になります。ここでは無料で公開しているビューワを紹介します。

### 第1章 EPUBのビューワについて

ここでは無料で公開しているビューワを紹介します。

ビューワの名前	開発者	対応 OS／プラットフォーム	簡単な説明	Web サイト
Adobe Digital Editions	Adobe Systems Incorporated	Windows (XP SP2以降) Mac OS X (10.4 以降)	EPUBとPDFの表示をサポート	<a href="http://www.adobe.com/jp/products/digitaleditions/">http://www.adobe.com/jp/products/digitaleditions/</a>
Stanza	Lexcycle, Inc	Windows (XP SP2以降), Mac OS X (10.4.8 以降), iPhone, iPod touch, iPad (iPhone OS 2.0以降)	EPUB 作成機能あり (Windows, Mac), PDFは文字の部分のみ表示	<a href="http://www.lexcycle.com/">http://www.lexcycle.com/</a>
iBooks	Apple Inc.	iPad (iPhone OS 3.2 以降), iPhone, iPod touch (iOS 4.0 以降)	EPUB と PDF の表示をサポート	<a href="http://www.apple.com/jp/support/ipad/ibooks/">http://www.apple.com/jp/support/ipad/ibooks/</a>
Sigil	Strahinja.Markovic	Windows, Mac (Intel), Linux	WYSIWYGの EPUB エディタ	<a href="http://code.google.com/p/sigil/">http://code.google.com/p/sigil/</a>
Calibre	Kovid Goyal	Windows (XP 以降), Mac (Intel), Linux	EPUB 作成機能あり, PDFの入出力にも対応	<a href="http://calibre-ebook.com/">http://calibre-ebook.com/</a>
EPUBReader	Michael Volz	Windows, Mac OS X, Linux	Web ブラウザ Firefox で EPUB の閲覧を可能にするアドオン	<a href="http://www.epubread.com/">http://www.epubread.com/</a>

これらのビューワの使用によって何らかの損害（データの消失、機器の破損等）が生じた場合、FANTaStIKK制作者は一切その責任を負いません。あらかじめ御了承ください。

## 第2章 FANTaStIKKで生成したEPUBをAdobe Digital Editionsでブラウズした際の不具合について

不具合内容	em要素に日本語を使用すると文字化けする Tableのキャプション位置指定が無効(caption-sideが使用できず常に上に表示される)
-------	--

## 第2部 EPUB出力

ここでは、文書をEPUBとして出力する場合に、プリセットに必要な設定を説明します。  
タブごとに設定項目を説明します。



### 第1篇 全体

「全体」では、電子書籍としての体裁を設定します。

#### 第1章 ID

URIなどユニークなIDを設定してください。

#### 第2章 背景の色

文書の背景の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

#### 第3章 文字の色

文書の全体の文字の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

#### 第4章 天地の余白

版面(本文を収める場所の範囲。「はんづら」と誌面の上端・下端との空きを数値で指定します。  
単位はemのみです。

上下一括の設定のみ可能です。

## 第5章 左右の余白

版面と誌面の左端・右端との空きを数値で指定します。

単位はemで固定です。

左右一括の設定のみ可能です。

## 第6章 背景画像

文書の背景の画像を設定します。

背景に使用する画像のファイル名を、半角英数文字で入力してください。

使用する画像ファイルは、「図」タブで設定する「画像の基準パス」で指定したフォルダに保存してください。

## 第7章 背景画像の並べ方

文書の背景の画像を設定します。

「敷き詰める」「横方向のみ並べる」「縦方向のみ並べる」「ひとつだけ表示する」から選択できます。

## 第8章 表紙

表紙として使用する画像を設定します。

画像のファイル名を指定します。

## 第9章 カテゴリ

文書のカテゴリを設定します。

## 第10章 概要

文書の概要を設定します。

## 第11章 権利

文書の権利者を設定します。

## 第2篇 目次

「目次」では、目次に表示する論理構造単位を設定します。



## 第1章 以下の項目を目次として使用する

論理単位構造として「表紙」「あらすじ」「抄録」「著者紹介」「とびら」「謝辞」「献辞」「序文」「凡例」「目次」「図版目次」「部」「篇」「章」「節」「項1」「項2」「項3」「項4」「項5」「項6」「あとがき」「解説」「付録」「索引」「用語集」「年表」「関連書籍」「奥付」「引用」「詩」「プログラムリスト」「参考文献」「囲み」についてそれぞれ設定できます。

デフォルト状態では、「表紙」「著者紹介」「とびら」「謝辞」「序文」「部」「篇」「章」「節」「項1」「あとがき」「奥付」は目次として表示されます。

## 第3篇 論理構造単位要素 (div)



## 第1章 論理構造単位要素の種類

EPUBプリセットでは、次に列挙する各要素について文字サイズ等を設定することができます。

- ・ 部
- ・ 篇
- ・ 章
- ・ 節
- ・ 項1
- ・ 項2-6
- ・ 本文



## 第2章 論理構造単位要素ごとに設定できる書式項目

各論理構造単位要素には、次の各項目が設定できます。  
説明文中の( )内は、対応するCSSプロパティです。

### 第1節 文字サイズ

文字のサイズを指定します (font-size)。  
単位はemで固定です。

### 第2節 行の高さ

行の高さを設定します (line-height)。  
数値指定します。単位はemで固定です。

### 第3節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します (margin-top)。  
数値指定します。単位はemで固定です。

前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

### 第4節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します (margin-bottom)。  
数値指定します。単位はemで固定です。

後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

### 第5節 左インデント

段落の左端と版面との距離を設定します (margin-left)。  
数値指定します。単位はemで固定です。

### 第6節 右インデント

段落の右端と版面との距離を設定します (margin-right)。  
数値指定します。単位はemで固定です。

## 第7節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します（text-align）。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等割付」から選択します。

ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第8節 背景画像

該当項目の背景画像を指定します（background\_image）。図タブの画像の基準パスで指定したフォルダに画像を置き、そこからの相対パスで指定します。

本文以外の要素で指定できます。

## 第9節 背景画像の並べ方

背景画像の並べ方を指定します（background-repeat）。

「敷き詰める」「横方向のみ並べる」「縦方向のみ並べる」「ひとつだけ表示する」から選択します。

本文以外の要素で指定できます。

## 第4篇 インライン要素

通常の文字列の中で使用される要素の体裁を設定します。



## 第1章 ルビ（ruby）

ルビの表示方法を指定します。

### 第1節 ルビのスタイル

ルビをどのように表示するか、あるいは表示しないかを指定します。

「親文字の後に表示」「表示なし」「ルビのみ表示。親文字は非表示」から選択します。

## 第2節 ルビの括弧スタイル

ルビを表示する際の括弧の形を選択します。

【】、（）、[]、{}、〈〉、《》、「」、『』、“”、[]、なし から選択できます。  
この設定は、「ルビのスタイル」が「親文字の後に表示」のときのみ有効です。

## 第2章 割注（mlg）

割注の設定をします。

これは、割注（注釈や説明文を、一行の中に2行に割って組んだ注のこと）のサンプルです。

現在、組版エンジンおよびCSSに「割注」の機能がありませんので、2行に割る組版はできません。括弧のスタイルの設定に応じて、出力されます。

### 第1節 割注の括弧のスタイル

割注は、括弧のスタイルに応じて出力されます。

（）、[]、{}、〈〉、《》、「」、『』、【】、“”、[]、なし から選択できます。

## 第3章 インライン画像

文字列の中に画像を挿入する際に指定します。

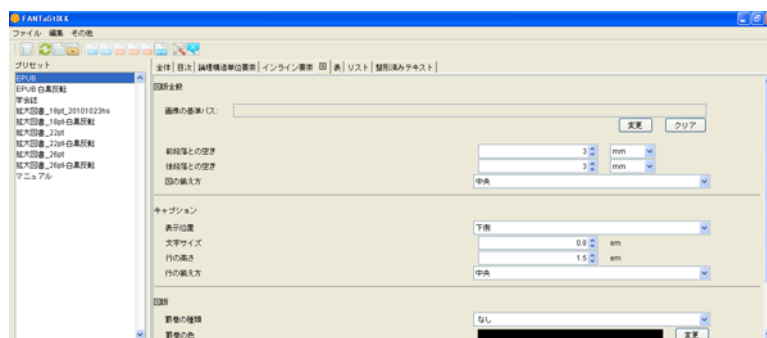
### 第1節 画像に対する天地方向の文字の揃え方

画像に対して、文字をどのように揃えるかを選択します。

「ベースライン」「上」「中央」「下」「text-top」「text-bottom」「sup」「sub」から選択できます。

## 第5篇 図（float）

図版全般の設定（画像の基準パス、キャプションの体裁、図版・罫巻の体裁）をします。



## 第1章 図版全般

### 第1節 画像の基準パス：

画像の場所をフルパスで指定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「画像の基準パス」ダイアログにて、任意の場所を設定してください。「クリア」ボタンで初期化されます。

図版を出力したい場合は必ず指定してください。

### 第2節 図の揃え方

版面における図版の配置を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」から選択します。

## 第2章 キャプション

キャプションの体裁を設定をします。キャプションが定義されていない場合、この設定は無効です。

### 第1節 表示位置

図版に対するキャプションの位置を設定します。

「上側」「下側」から選択します。

### 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位はemです。

ここでの設定は図を包含する項目の「文字サイズ」に対する相対値です。

### 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位はemです。

ここでの設定はキャプションの「文字サイズ」に対する相対値です。

### 第4節 行の揃え方

行の揃え方を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え（複数行時、最終行は左揃え）」から選択できます。

## 第3章 図版

図版に対する罫巻の設定、図版のサイズを設定します。

### 第1節 罫巻の種類

罫巻の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

「なし」を選択した場合、「罫巻の色」「罫巻の太さ」「罫巻と図版との間隔」は設定しても無効です。

### 第2節 罫巻の色

罫巻の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

### 第3節 罫巻の太さ

罫巻の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

### 第4節 罫巻と図版との間隔

罫巻と図版との間隔を設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

### 第5節 背景色

図版の背景色を設定します。

「罫巻と図版との間隔」が0に設定されている場合、この設定は無効です。

## 第6篇 表 (table)

表の体裁を設定します。



## 第1章 表全体

表の基本体裁を設定します。

### 第1節 表の幅

表の幅を設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は版面に対する相対値です。

### 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位はptとmmと%から選べます。

### 第3節 外罫の種類

外罫の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

「なし」を選択した場合、「外罫の色」「外罫の太さ」は設定しても無効です。

### 第4節 外罫の色

外罫の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

### 第5節 外罫の太さ

外罫の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

## 第6節 隣接するセルの罫

隣接するセルの罫の処理を設定します。  
「重ねて表示」「間隔をあけて表示」から選択できます。

## 第7節 列幅のレイアウト

列幅のレイアウト方法を設定します。  
「自動レイアウト」「固定レイアウト」から選択できます。

自動レイアウト	セルの内容に応じて、列幅が自動的に設定されます。
固定レイアウト	表の幅を均等に割り当てた列幅になります。

# 第2章 キャプション

表のキャプションの設定をします。

## 第1節 表示位置

表に対するキャプションの位置を設定します。  
「上側」「下側」から選択します。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「表／表全体／文字サイズ」に対する相対値です。

## 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「表／表全体／文字サイズ」に対する相対値です。

## 第4節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。  
「中央揃え」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。

## 第3章 見出しセル・セル

「見出しセル」「セル」の設定項目は同様なので、まとめて解説します。

### 第1節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は「表／表全体／文字サイズ」に対する相対値です。

### 第2節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は「表／表全体／文字サイズ」に対する相対値です。

### 第3節 テキストとセルとの間隔

セルのふちと文字との間隔を設定します。

数値指定します。単位はmmとptとemから選べます。

### 第4節 テキストの水平配置

セル内における文字の左右方向の配置を設定します。

「左揃え」「中央揃え」「右揃え」「セル内均等」から選択します。

### 第5節 テキストの天地配置

セル内における文字の上下方向の配置を設定します。

「ベースライン」「上」「中央」「下」から選択します。

### 第6節 罫の種類

セルの罫の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

「なし」を選択した場合、「罫の色」「罫の太さ」は設定しても無効です。



## 第7節 罫の色

セルの罫の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第8節 罫の太さ

セルの罫の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

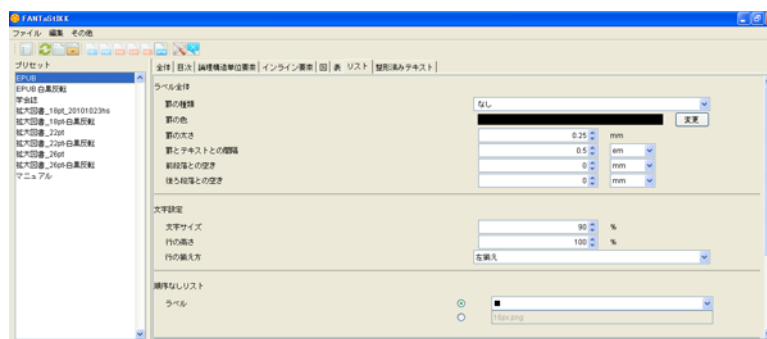
## 第9節 背景色

セルの背景色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第7篇 リスト

順序付きリスト、順序なしリスト、定義リストの3種類のリスト形式について、文字や罫など全てのリスト形式で共通に適用される書式項目と、ラベルの種類などリスト形式ごとに個別に設定できる項目があります。



## 第1章 ラベル全体

全リスト形式で共通に適用される書式項目設定します。

### 第1節 罫の種類

罫の種類を設定します。

「実線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

## 第2節 罫の色

罫の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第3節 罫の太さ

罫の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmです。

## 第4節 罫とテキストの間隔

罫とテキストとの間隔を設定します。

数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

# 第2章 文字設定

フォントや文字サイズ、行の揃え方などを設定します。

## 第1節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位は % です。

## 第2節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位は %です。

## 第3節 行の揃え方

行の揃え方を設定します。

「左揃え」「中央」「右揃え」「均等揃え」から選択します。

# 第3章 順序なしリスト (ul)

順序なしリストの書式項目を設定します。

## 第1節 ラベル

リストの各項目の先頭に付加される、ラベルの種類を設定します。

「●」「○」「□」から選択するか、画像ファイルを指定することができます。

画像ファイルを指定する場合は、ファイル名を半角英数文字で入力してください。

使用する画像ファイルは、「図」タブで設定する「画像の基準パス」で指定したフォルダに保存してください。

## 第4章 順序付きリスト (ol)

順序付きリストの書式項目を設定します。

### 第1節 ラベル

リストの各項目の先頭に付加される、ラベルの種類を設定します。

「i, ii, iii...」「I, II, III...」「 $\alpha$ ,  $\beta$ ,  $\gamma$ ...」「1, 2, 3...」「01, 02, 03...」「a, b, c...」「A, B, C...」「なし」から選択します。

## 第5章 定義リスト (dl)

定義リストの書式項目を設定します。

### 第1節 ラベルとボディの開始位置の間隔

ラベル(定義名)とボディ(定義内容)の開始位置との間隔を設定します。

数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

### 第2節 ラベルとボディの間隔

ラベル(定義名)とボディ(定義内容)との間隔を設定します。

数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

## 第8篇 整形済みテキスト (pre)

整形済みのテキスト(改行文字や空白文字をそのまま利用したいテキスト)を設定します。



## 第1章 テキスト

整形済みテキストの体裁を設定します。

### 第1節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は整形済みテキストを包含する項目の「文字サイズ」に対する相対値です。

### 第2節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は整形済みテキストの「文字サイズ」に対する相対値です。

### 第3節 左インデント

段落の左端と版面との距離を設定します。

数値指定します。単位はmmとptとem（1em=1文字）から選べます。

### 第4節 右インデント

段落の右端と版面との距離を設定します。

数値指定します。単位はmmとptとem（1em=1文字）から選べます。

## 第2章 背景

整形済みテキストの背景の体裁を設定します。

## 第1節 背景の罫線の種類

背景の罫線の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

「なし」を選択した場合、「背景の罫線の色」「背景の罫線の太さ」は設定しても無効です。

## 第2節 背景の罫線の色

背景の罫線の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第3節 背景の罫線の太さ

背景の罫線の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

## 第4節 枠とテキストとの間隔

枠と図版との間隔を設定します。

数値指定します。単位はmmとptとem（1em=1文字）から選べます。

## 第5節 背景色

枠の背景色を指定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

# 第3部 PDF出力

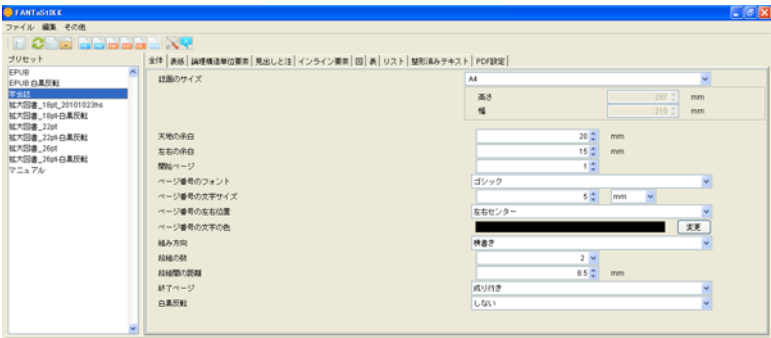
ここでは、文書をPDFとして出力する場合に、プリセットに必要な設定を説明します。  
タブごとに設定項目を説明します。  
プリセット「マニュアル」とプリセット「学会誌」とは、ほとんど同じものです。異なるのは「論理構造単位要素」の設定の仕方のみです。

- ・プリセット「マニュアル」:「論理構造単位要素」の一つ一つの項目について設定する
  - ・プリセット「学会誌」:「論理構造単位要素」の項目をまとめて設定する

そこで、ここでは二つのプリセットについて「論理構造単位要素」のみを個別に説明し、残りのタブについては一緒に説明します。

## 第1篇 全体

「全体」では、冊子としての体裁を設定します。  
冊子の体裁とは、「誌面のサイズ」「天地の余白」「左右の余白」「組み方向」「段組の数」「段組間の距離」「終了ページ」です。



## 第1章 誌面のサイズ

組版したい誌面のサイズを指定します。  
A4縦横、B5縦横など、あらかじめいくつかの値が設定されています。これらの「高さ」「幅」は変更できません。  
「項目を追加」「項目を削除」により、誌面サイズを追加したり、既存の紙面サイズを削除したりできます。

項目を追加	「入力」ダイアログの「追加する項目名を入力:」欄に任意の項目名を入力し、「了解」ボタンを押下してください。 追加した項目を選択すると、「高さ」「幅」が変更可能になります。任意の値を入力してください。 「項目名」「高さ」「幅」はFANTaStiKKに保存され、以後、項目を削除しない限り使用できます。
項目を削除	「削除」ダイアログの「削除する項目名:」で、削除したい項目を選択し、「了解」ボタンを押下してください。 削除した項目は復元できません。

## 第2章 天地の余白

版面(本文を収める場所の範囲。「はんづら」と誌面の上端・下端との空きを小数第1位までの数値で指定します。  
単位はmmのみです。  
上下一括の設定のみ可能です。

## 第3章 左右の余白

版面と誌面の左端・右端との空きを小数第1位までの数値で指定します。  
単位はmmで固定です。  
左右一括の設定のみ可能です。

## 第4章 開始ページ

冊子の開始ページを設定します。  
整数値で指定します。  
横書きの誌面において、開始ページに奇数を設定した場合は右ページ始まり、偶数を指定した場合は左ページ始まり(見開き始まり)になります。

## 第5章 ページ番号のフォント

ページ番号のフォント(書体)を設定します。  
「ゴシック」「明朝」から選択できます。

## 第6章 ページ番号の文字サイズ

ページ番号の文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第7章 ページ番号の左右位置

ページ番号を表示する位置を設定します。  
「左右センター」「外側」から選択できます。「左右センター」は、ページの下部の中央、「外側」は見開きで表示した際に外側に位置するように、配置されます。

左右センター	ページ下部の中央に、配置されます。
外側	見開きで表示した場合に、ページ下部の外側になるように配置されます。

## 第8章 ページ番号の文字サイズ

ページ番号の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第9章 組み方向

誌面上で、文字が流れる方向を設定します。

組版エンジンApache FOPは、自身の制約として縦書きの組版ができません。そのため、組版エンジンにApache FOPを選択した場合は、この設定にかかわらず、横書きになります。

組版エンジンがAH XSL Formatterの場合は、この設定は有効です。

## 第10章 段組の数

段組の数を指定します。

1～10の値から選択します。

## 第11章 段組間の距離

段組が複数ある場合、段組間の距離を設定します。

数値指定します。単位はmmのみです。

段組の数が1の場合、設定しても無効です。

## 第12章 終了ページ

冊子の最終ページの体裁を設定します。

「偶数終わり」「奇数終わり」「成り行き」から選択します。

偶数終わり	コンテンツの終了ページにかかわらず、冊子を偶数ページにします。コンテンツが奇数ページで終わった場合、最終ページは白紙になります。
奇数終わり	コンテンツの終了ページにかかわらず、冊子を奇数ページにします。コンテンツが偶数ページで終わった場合、最終ページは白紙になります。
成り行き	コンテンツが終了したページが冊子の最終ページです。最終ページは白紙にはなりません。

## 第13章 白黒反転

通常、誌面は白色、文字は黒色ですが、これを逆転(黒地誌面に白い文字。視覚の状態によっては、この方が読みやすい人もいます)させるかどうかを設定します。

表など、個別に色の設定ができるものについては、ここでの設定は反映されません。それぞれで背景と文字色の設定をしてください。



## 第2篇 表紙（bookinfoまたはtype属性が「表紙」のdiv）

表紙の情報を文書中のどこから引用するのかの設定、および、表紙の体裁の設定をします。



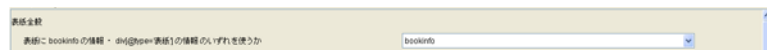
## 第1章 表紙全般

### 第1節 表紙にbookinfoの情報・div[@type='表紙']のいずれの情報を使うか

JepaXでは、文書の基本的な情報、すなわち書名・著者・出版者などを書誌情報（bookinfo）に格納できます。

また、type属性の属性値が「表紙」のdivには、表紙に出力したい情報を格納できます。ただし、出力時にレイアウトに変化をつけることはできません。

そのため、表紙にはbookinfoの情報を使用することをお勧めします。



## 第2章 bookinfo／デザイン



### 第1節 bookinfo表紙タイトル・サブタイトルの枠囲み

タイトル・サブタイトルを枠で囲むかどうかを設定します。

「しない」を選択した場合、「枠の線種」「枠の色」「枠の線の太さ」「枠とタイトルとの間隔」は設定しても無効です。

## 第2節 タイトルの誌面上端からの距離

タイトルを誌面上端からどれくらい離すかを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

ここでの設定は、枠がある場合は枠と誌面上端との距離、枠がない場合は文字列と誌面上端との距離に適用されます。

## 第3節 タイトルの誌面左右からの距離

タイトルを誌面左右端からそれぞれどれくらい離すかを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

左右一括の設定のみ可能です。

ここでの設定は、枠がある場合は枠と誌面左右との距離、枠がない場合は文字列と誌面左右との距離に適用されます。

## 第4節 枠の線種

枠の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択できます。

## 第5節 枠の色

枠の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第6節 枠の線の太さ

枠の線の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

## 第7節 枠とタイトルとの間隔

枠とタイトルとの間隔を設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

最小値は1mmまたは1ptです。

## 第3章 bookinfo／タイトル・サブタイトル・その他の情報

表紙にbookinfoの情報を使用する場合の、タイトルやサブタイトル、その他の情報の体裁について設定します。

The screenshot shows a settings window for book layout. It is divided into three main sections:

- bookinfo/タイトル (Title):**
  - Font: Gothic (ゴシック)
  - Text Size: 20 pt
  - Line Height: 30 pt
  - Title Spacing: Center (中央揃え)
  - Line Alignment: Center (中央揃え)
  - Final Line Alignment: Center (中央揃え)
- bookinfo/サブタイトル (Subtitle):**
  - Font: Gothic (ゴシック)
  - Text Size: 10 pt
  - Line Height: 15 pt
  - Title Spacing: 0 mm
  - Line Alignment: Right (右揃え)
  - Final Line Alignment: Right (右揃え)
- bookinfo/その他の情報 (Other Information):**
  - Title Part Spacing: 3 mm
  - Font: Gothic (ゴシック)
  - Text Size: 10 pt
  - Line Height: 15 pt
  - Line Alignment: Right (右揃え)
  - Final Line Alignment: Right (右揃え)
  - Bottom Margin: 5 mm

「タイトル」「サブタイトル」「その他の情報」の設定項目には共通のものが多いため、下記のようにまとめて解説します。

—	タイトルとの 空き	フォント	文字サイズ	行の高さ	タイトルとの 空き	行の揃え方	最終行の揃え方	版面の 端からの左右の マージン
タイトル	—	○	○	○	○	○	○	—
サブタイトル	—	○	○	○	○	○	○	—
その他の情報	○	○	○	○	—	○	○	○

## 第1節 タイトル部分との空き

著者、出版者などの情報を、タイトルからどれだけ離すかを設定します。  
数値指定します。単位はmmとptから選べます。

## 第2節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第3節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第4節 行の高さ

行の高さを設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第5節 タイトルとの空き

サブタイトルの、タイトルからの距離を指定します。  
数値指定します。単位はmm、pt、emから選べます。  
サブタイトルはタイトルの下方にのみ配置できます。

## 第6節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等割付」から選択します。  
ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第7節 最終行の揃え方

最終行の行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等割付」から選択します。  
ここでの設定は最終行にのみ反映されます。最終行以外の設定は、上記の「行の揃え方」で設定します。

## 第8節 版面の端からの左右のマージン

版面の端からの左右のマージンを設定します。  
数値指定します。単位はmmとptから選べます。  
左右一括の設定のみ可能です。

# 第4章 div表紙

表紙にdiv[@type="表紙"]の情報を使用する場合の、タイトルやサブタイトル、その他の情報の体裁について設定します。

## 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第3節 行の高さ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第4節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。  
前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。  
該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第5節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。  
後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。  
該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第6節 左インデント

段落の左端と版面との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第7節 右インデント

段落の右端と版面との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第8節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等割付」から選択します。

ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第9節 最終行の揃え方

最終行の行内における文字の配置を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等割付」から選択します。

ここでの設定は最終行にのみ反映されます。最終行以外の設定は、上記の「行の揃え方」で設定します。

## 第10節 終了後改ページ

表紙と次ページとの間の改ページの有無を設定します。

「その場で改ページ」「偶数ページで改ページ」「奇数ページで改ページ」「成り行き」から選択します。

その場で改ページ	表紙の直後で改ページします
偶数ページで改ページ	表紙の最終ページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、偶数ページで改ページします。
奇数ページで改ページ	表紙の最終ページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、奇数ページで改ページします。
成り行き	改ページされません

## 第3.1篇 論理構造単位要素（div）／プリセット「マニュアル」

一般的に、文書は本文に相当する部分および目次・あらすじ・あとがき・索引のように、本文に付随するさまざまな部分（部品）からなります。さらに、本文は、章→節→項のように、階層構造を持ちます。これらの各構造も部品と見なすことができます。これら各部品を、JepaXでは「論理構造単位要素」と呼びます。本マニュアルも、それになります。



## 第1章 論理構造単位要素の種類

論理構造単位要素には、部・篇・章・節・項など、さまざまな種類のものがあらかじめ用意されています。

ここでは、全論理構造単位要素を列挙します。

- ・ あらすじ
- ・ 抄録
- ・ 著者紹介
- ・ とびら
- ・ 謝辞

- ・ 献辞
- ・ 序文
- ・ 凡例
- ・ 目次
- ・ 図版目次
- ・ 部
- ・ 篇
- ・ 章
- ・ 節
- ・ 項1
- ・ 項2
- ・ 項3
- ・ 項4
- ・ 項5
- ・ 項6
- ・ あとがき
- ・ 解説
- ・ 付録
- ・ 索引
- ・ 用語集
- ・ 年表
- ・ 関連書籍
- ・ 奥付
- ・ 引用
- ・ 詩
- ・ プログラムリスト
- ・ 参考文献
- ・ 囲み

## 第2章 グループ設定

各論理構造単位要素を、設定したい体裁ごとにグループ分けし、登録します。グループは三つまで作成可能です。

その他に、個別に設定したい論理構造単位要素については「個別に設定した値を使用」のところにに入れてください。ここに入力された論理構造単位要素については、下の該当するところで設定した値が適用されます。

論理構造単位要素どうしの間には、半角スペース一つを入れてください。

いずれのグループにも登録されなかった論理構造単位要素は、後述の「デフォルト」の体裁が設定されます。

## 第3章 論理構造単位要素ごとに設定できる書式項目

論理構造単位要素ごとに、さまざまな書式項目が設定できます。

書式項目には、フォントや文字サイズ、行の揃え方などがあります。



書式項目には、すべての論理構造単位要素が共通して持つ11項目のほかに、特定の論理構造単位要素のみが持つものもあります。

## 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。

「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第4節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第5節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。



## 第6節 左インデント

段落の左端と版面との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第7節 右インデント

段落の右端と版面との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第8節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等割付」から選択します。  
ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第9節 最終行の揃え方

最終行の行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等割付」から選択します。  
ここでの設定は最終行にのみ反映されます。最終行以外の設定は、上記の「行の揃え方」で設定します。

## 第10節 改ページして開始

自身の直前で改ページするかどうかを設定します。  
「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする	常に改ページします。
成り行き	能動的な改ページをしません。結果的に改ページになることはあります。
偶数終わり	偶数ページのタイミングで改ページします。
奇数終わり	奇数ページのタイミングで改ページします。

## 第11節 終了後改ページ

自身の直後で改ページするかどうかを設定します。  
「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする	常に改ページします。
成り行き	能動的な改ページをしません。結果的に改ページになることはあります。
偶数終わり	偶数ページのタイミングで改ページします。

## 第4章 デフォルト

「個別に設定した値を使用」や、グループ1／2／3のいずれにも登録されなかった論理構造単位要素は、この設定が適用されます。

## 第5章 目次出力

目次の出力方法を指定します。

他の論理構造単位要素と同じ指定項目の他に、目次でのみ指定可能な項目があります。

ここでは、目次出力でのみ指定可能な項目について説明します。

### 第1節 目次部分の出力

目次部分の出力の有無を設定します。

「自動生成」「div[@type='目次']を出力する」「出力しない」から選択します。

### 第2節 目次のリーダー罫

目次のリーダー罫を指定します。

「空白」「罫線」「点線」から選択します。

### 第3節 罫線の種類

この項目は、目次のリーダー罫が「罫線」のときのみ有効です。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

## 第4節 罫線の太さ

この項目は、目次のリーダー罫が「罫線」のときのみ有効です。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

## 第3.2篇 論理構造単位要素（div）／プリセット「学会誌」

「マニュアル」との差異に限って説明します。

多数ある論理構造単位要素の一つ一つに体裁を設定できるのは、複雑な体裁を再現するのには便利です。  
ただ、単純な体裁でよい場合にはかえって面倒です。

「学会誌」では、個別設定できるようにあらかじめ表示する論理構造単位要素を「抄録」「参考文献」のように、よく使われるものに絞ってあります。



## 第4篇 見出し（head）と注（note）



## 第1章 見出し（head）

「タイトル」「サブタイトル」「著者名」などの情報をまとめた要素です。

### 第1節 本文と同じページにする

見出し部を本文と同じページに配置するかどうかを設定します。

「成り行き」「常に」から選択します。

成り行き	成り行きで表示されます。ページの下に見出しだけが「取り残されて」配置されることがあります。
常に	「常に」を選択すると、見出しと、次のdivが必ず同じページに配置されます。ページの下に見出しだけが「取り残されて」配置されることはなくなります。

## 第2節 見出し部途中での改ページ

見出し部途中での改ページを許容するかどうかを設定します。

「しない」「成り行き」から選択します。

しない	見出し部の途中での改ページを禁止します。
成り行き	成り行きで改ページします。

## 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は「見出し部のナンバー」と、「見出し部のタイトル」の「文字サイズ」に対する相対値です。

## 第4節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第5節 左インデント（本文に対して）

段落の左端と版面（本文を取める場所の範囲。「はんづら」と読む）との距離を設定します。

数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。

ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第6節 右インデント（本文に対して）

段落の右端と版面（本文を取める場所の範囲。「はんづら」と読む）との距離を設定します。

数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。

ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第7節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。

ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第8節 最終行の揃え方

最終行の行内における文字の配置を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。

ここでの設定は最終行にのみ反映されます。最終行以外の設定は、上記の「均等揃え」で設定します。

## 第9節 終了後改ページ

見出しと次ページとの間の改ページの有無を設定します。

「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする	見出し部の直後で強制的に改ページします。
成り行き	成り行きで改ページします。
偶数終わり	見出し部のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、偶数ページで改ページします。
奇数終わり	見出し部のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、奇数ページで改ページします。

## 第2章 見出し部のナンバー（no）

### 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。

「ゴシック」「明朝」から選択します。

### 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第3章 見出し部のタイトル（title）

タイトルは、上記「見出し部のタイトル(title)」の箇所です。

## 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第3節 ナンバーとタイトルとの間隔

タイトル番号と、タイトルとの間隔を設定。  
数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。

# 第4章 見出し部のサブタイトル（subtitle）これは、サブタイトルのサンプルです。

## 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第4節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。

前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第5節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第6節 左インデント（本文に対して）

段落の左端と版面（本文を取める場所の範囲。「はんづら」と読む）との距離を設定します。

数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。

ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第7節 右インデント（本文に対して）

段落の右端と版面（本文を取める場所の範囲。「はんづら」と読む）との距離を設定します。

数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。

ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第8節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。

ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第9節 最終行の揃え方

最終行の行内における文字の配置を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。

ここでの設定は最終行にのみ反映されます。最終行以外の設定は、上記の「均等揃え」で設定します。

## 第10節 終了後改ページ

見出しと次段落との間の改ページの有無を設定します。

「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする

見出し部の直後で強制的に改ページします。

成り行き	成り行きで改ページします。
偶数終わり	見出し部のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、偶数ページで改ページします。
奇数終わり	見出し部のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、奇数ページで改ページします。

## 第5章 見出し部の著者（author）これは見出し部の著者のサンプルです。

### 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。

### 第2節 文字サイズ

数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

### 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

### 第4節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。  
前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。  
該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

### 第5節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。  
後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。  
該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

### 第6節 左インデント（本文に対して）

段落の左端と版面（本文を収める場所の範囲。「はんづら」と読む）との距離を設定します。



数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第7節 右インデント（本文に対して）

段落の右端と版面（本文を収める場所の範囲。「はんづら」と読む）との距離を設定します。  
数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第8節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。  
ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第9節 最終行の揃え方

最終行の行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。  
ここでの設定は最終行にのみ反映されます。最終行以外の設定は、上記の「均等揃え」で設定します。

## 第10節 終了後改ページ

見出し部の著者と次の項目との間の改ページの有無を設定します。  
「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする	見出し部の著者の直後で強制的に改ページします。
成り行き	成り行きで改ページします。
偶数終わり	見出し部の著者のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、偶数ページで改ページします。
奇数終わり	見出し部の著者のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、奇数ページで改ページします。

## 第6章 注（note）

### 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。  
これは注のサンプルです。

## 第2節 文字サイズ

数値指定します。単位はptとmmから選べます。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第4節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。  
前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。  
該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第5節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。  
数値指定します。単位はptとmmから選べます。  
後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。  
該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第6節 左インデント（本文に対して）

段落の左端と版面（本文を収める場所の範囲。「はんづら」と読む）との距離を設定します。  
数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第7節 右インデント（本文に対して）

段落の右端と版面（本文を収める場所の範囲。「はんづら」と読む）との距離を設定します。  
数値指定します。単位はem（1em=1文字）です。  
ここでの設定は「本文」に対する相対値です。

## 第8節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。  
ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第9節 最終行の揃え方

最終行の行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。  
ここでの設定は最終行にのみ反映されます。最終行以外の設定は、上記の「均等揃え」で設定します。

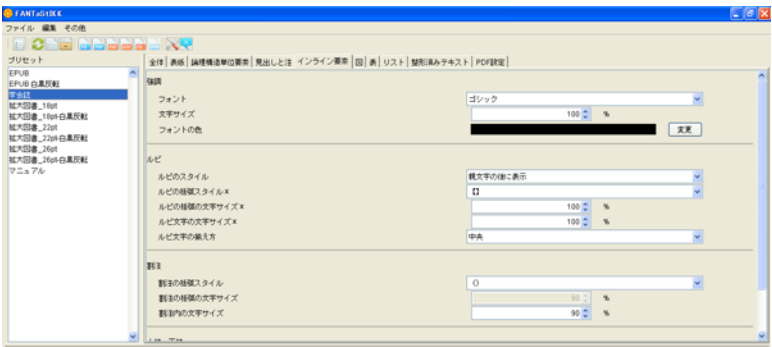
## 第10節 終了後改ページ

注と次の項目との間の改ページの有無を設定します。  
「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする	注の直後で強制的に改ページします。
成り行き	成り行きで改ページします。
偶数終わり	注のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、偶数ページで改ページします。
奇数終わり	注のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、奇数ページで改ページします。

## 第5篇 インライン要素

通常の文字列の中で使用される要素の体裁を設定します。



## 第1章 強調 (em)

なんらかの方法で強調されるべき文字列。

## 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は、通常の文字列に対する相対値です。

## 第3節 フォントの色

フォントの色を変更できます。  
「変更」ボタンを押し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第2章 ルビ（ruby）

ルビの設定をします。  
ルビには、単語単位に読みを振る「グループルビ」と、漢字1文字毎に読みを振る「モノルビ」があります。

グループルビ	五月雨(さみだれ)など、1文字ずつに読みが割り当てられないときや、当て字などに使用します。
モノルビ	五(ご)月(がつ)など、1文字ずつに読みを割り当てられるときに使用します。

組版エンジン「Apache FOP」には、親文字の上にルビを振る機能はありません。  
親文字とは、ルビを振る対象となる元の文字(文字群)のことです。

### 第1節 ルビのスタイル

親文字の後に表示、表示なし、ルビのみ表示、rubyより選択。

親文字の後に表示	ルビは親文字の後に、「*」の設定に従って出力されます。
表示なし	ルビは非表示(ルビに関する以下の「*」の設定は無効です)。
ルビのみ表示	親文字は非表示(ルビに関する以下の「*」の設定は無効です)。
ruby	ルビは、親文字の上に表示されます。 組版エンジンとして「AH XSL Formatter」を使用する場合、有効です。文字サイズは40%推奨。 組版エンジンとして「Apache FOP」を使用する場合、親文字の後に表示されます。

## 第2節 ルビの括弧スタイル\*

()、[]、{}、〈〉、《》、「」、『』、【】、”、[]、なし より選択できます。  
この設定は、「ルビのスタイル」が「親文字の後に表示」のときのみ有効です。

## 第3節 ルビの括弧の文字サイズ\*

括弧の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は、通常の文字列に対する相対値です。  
この設定は、「ルビのスタイル」が「親文字の後に表示」のときのみ有効です

## 第4節 ルビ文字の文字サイズ\*

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は、通常の文字列に対する相対値です。  
この設定は、「ルビのスタイル」が「親文字の後に表示」または「ruby」のときのみ有効です。

## 第5節 ルビ文字の揃え方

文字の左右方向の配置を設定します。「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。  
この設定は、「ルビのスタイル」が「ruby」のときのみ有効です。

## 第3章 割注 (mlg)

割注の設定をします。  
これは、割注(注釈や説明文を、一行の中に2行に割って組んだ注のこと)のサンプルです。  
現在、組版エンジンに「割注」の機能がありませんので、2行に割る組版はできません。括弧のスタイルの設定に応じて、出力されます。

### 第1節 割注のスタイル

選択不可。組版エンジンに「割注」の機能がありませんので、2行に割る組版はできません。  
割注は、括弧のスタイルに応じて出力されます。

### 第2節 割注の括弧のスタイル

()、[]、{}、〈〉、《》、「」、『』、【】、”、[]、なし より選択できます。

## 第3節 割注の括弧の文字サイズ

割注の括弧の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は、通常の文字列に対する相対値です。

## 第4節 割注内の文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は、通常の文字列に対する相対値です。

## 第4章 上付・下付

上付文字と下付文字の設定をします。  
これは、上付文字\*と下付文字\*のサンプルです。

### 第1節 上付文字の文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は、通常の文字列に対する相対値です。

### 第2節 下付文字の文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は、通常の文字列に対する相対値です。

## 第6篇 図 (float)

図版全般の設定(画像の基準パス、キャプションの体裁、図版・罫巻の体裁)をします。



## 第1章 図版全般

## 第1節 画像の基準パス:

画像の場所をフルパスで指定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「画像の基準パス」ダイアログにて、任意の場所を設定してください。「クリア」ボタンで初期化されます。

図版を出力したい場合は必ず指定してください。

## 第2節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

### 第3節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第4節 図の揃え方

版面における図版の配置を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等割付」から選択します。

## 第5節 描画方法

図版を配置する大きさの指定方法を選択します。  
「画像の最大幅を指定」「元画像に対する%値で指定」から選択します。

画像の最大幅を指定	図版を配置する際の、最大幅を「画像の最大幅」に数値で指定します。単位は%とmmから選べます。 図版は、元の大きさのまま配置されます。ただし、指定した最大幅を超える場合は、指定した最大幅に縮小されます。
元画像に対する%値で指定	図版を配置する大きさを、元画像に対する相対値で指定します。 「画像のサイズ(%)」に数値で指定します。単位は%です。

## 第6節 終了後改ページ

図版と次ページとの間の改ページの有無を設定します。  
「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする	図版の直後で強制的に改ページします。
成り行き	必要に応じて成り行きで改ページします。
偶数終わり	図版のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、偶数ページで改ページします。
奇数終わり	図版のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、奇数ページで改ページします。

## 第2章 キャプション

キャプションの体裁を設定をします。キャプションが定義されていない場合、この設定は無効です。

### 第1節 表示位置

図版に対するキャプションの位置を設定します。  
「上側」「下側」から選択します。

### 第2節 図の幅で折り返す/折り返さない

キャプションの長さが、図版の幅よりも長い場合の処理を指定します。  
「折り返す」「折り返さない」から選択します。

### 第3節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。



## 第4節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は図を包含する項目の「文字サイズ」に対する相対値です。

## 第5節 1行目の行頭インデント

1行目のインデントを設定します。

数値指定します。単位はmm、pt、emから選べます。

## 第6節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定はキャプションの「文字サイズ」に対する相対値です。

## 第7節 行の揃え方

行の揃え方を設定します。

「中央」「左揃え（複数行時、最終行以外は均等揃え）」「右揃え（複数行時、最終行以外は均等揃え）」「均等揃え（複数行時、最終行は左揃え）」から選択できます。

# 第3章 図版

図版に対する罫巻の設定、図版のサイズを設定します。

## 第1節 罫巻の種類

罫巻の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

「なし」を選択した場合、「罫巻の色」「罫巻の太さ」「罫巻と図版との間隔」は設定しても無効です。

## 第2節 罫巻の色

罫巻の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。



## 第1節 表の幅

表の幅を設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は版面に対する相対値です。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位はptとmmと%から選べます。

## 第3節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第4節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第5節 外罫の種類

外罫の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

「なし」を選択した場合、「外罫の色」「外罫の太さ」は設定しても無効です。

## 第6節 外罫の色

外罫の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第7節 外罫の太さ

外罫の太さを設定します。  
数値指定します。単位はmmとptから選べます。

## 第8節 表内改ページ

表のセル中の改ページの有無を設定します。  
「禁止する」「成り行き」から選択します。

禁止する	表のセル中の改ページを禁止します。 禁止されたセルは次のページに追い出されます。
成り行き	必要に応じて成り行きで改ページします。

## 第9節 終了後改ページ

図版と次ページとの間の改ページの有無を設定します。  
「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする	図版の直後で強制的に改ページします。
成り行き	必要に応じて成り行きで改ページします。
偶数終わり	図版のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、偶数ページで改ページします。
奇数終わり	図版のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、奇数ページで改ページします。

## 第2章 キャプション

表のキャプションの設定をします。

### 第1節 表示位置

表に対するキャプションの位置を設定します。  
「上側」「下側」から選択します。

### 第2節 表の幅で折り返す/折り返さない

キャプションの長さが、表の幅よりも長い場合の処理を指定します。  
「折り返す」「折り返さない」から選択します。

## 第3節 フォント

フォントの種類を選択します。  
「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第4節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「表／表全体／文字サイズ」に対する相対値です。

## 第5節 行の高さ

行の高さを設定します。  
数値指定します。単位は%です。  
ここでの設定は「表／表全体／文字サイズ」に対する相対値です。

## 第6節 1行目の行頭インデント

1行目のインデントを設定します。  
数値指定します。単位はmm、pt、emから選べます。

## 第7節 行の揃え方

行内における文字の配置を設定します。  
「中央」「左揃え（複数行時、最終行以外は均等揃え）」「右揃え（複数行時、最終行以外は均等揃え）」「均等割付（複数行時、最終行は左揃え）」から選択します。

# 第3章 見出し列

見出し列(表の最初の列)の幅を設定します。

## 第1節 見出し列の幅

見出し列の幅を設定します。  
「自動」「数値入力(%, mm)」から選択します。

自動	セルの内容によって自動的に設定されます。
数値入力	単位が「%」の場合は「表の幅」の相対値で設定します。

## 第4章 見出しセル・セル

「見出しセル」「セル」の設定項目は同様なので、まとめて解説します。

### 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。

「ゴシック」「明朝」から選択します。

### 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は「表／表全体／文字サイズ」に対する相対値です。

### 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は「表／表全体／文字サイズ」に対する相対値です。

### 第4節 テキストとセルとの間隔

セルのふちと文字との間隔を設定します。

数値指定します。単位はptとmmと%から選べます。

### 第5節 テキストの水平配置

セル内における文字の左右方向の配置を設定します。

「左揃え（複数行時、最終行以外は均等揃え）」「中央」「右揃え（複数行時、最終行以外は均等揃え）」  
「セル内均等（複数行時、最終行は左揃え）」から選択します。

### 第6節 テキストの天地配置

セル内における文字の上下方向の配置を設定します。

「上寄せ」「中央」「下寄せ」「セル内均等」から選択します。

## 第7節 罫の種類

セルの罫の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

「なし」を選択した場合、「罫の色」「罫の太さ」は設定しても無効です。

## 第8節 罫の色

セルの罫の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第9節 罫の太さ

セルの罫の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

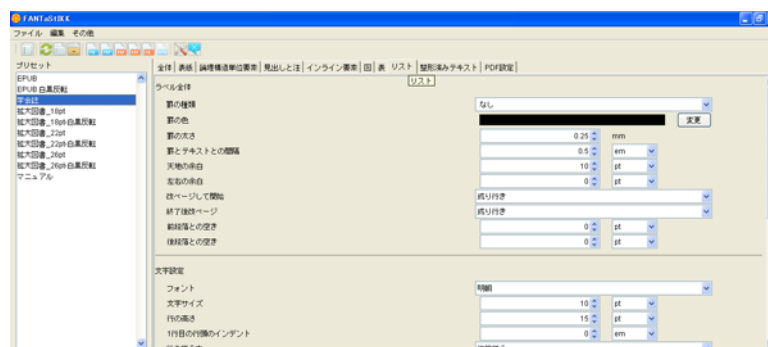
## 第10節 背景色

セルの背景色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第8篇 リスト

順序付きリスト、順序なしリスト、定義リストの3種類のリスト形式について、文字や罫など全てのリスト形式で共通に適用される書式項目と、ラベルの種類などリスト形式ごとに個別に設定できる項目があります。



## 第1章 ラベル全体

全リスト形式で共通に適用される書式項目設定します。

## 第1節 罫の種類

罫の種類を設定します。

「実線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

## 第2節 罫の色

罫の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第3節 罫の太さ

罫の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmです。

## 第4節 罫とテキストの間隔

罫とテキストとの間隔を設定します。

数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

## 第5節 天地の余白

罫の周囲の、天地の余白を設定します。

数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

## 第6節 左右の余白

罫の周囲の、左右の余白を設定します。

数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

## 第7節 改ページして開始

自身の直前で改ページするかどうかを設定します。

「成り行き」「常にする」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

成り行き	能動的な改ページをしません。結果的に改ページになることはあります。
常にする	常に改ページします。
偶数終わり	偶数ページのタイミングで改ページします。
奇数終わり	奇数ページのタイミングで改ページします。



## 第8節 終了後改ページ

自身の直後で改ページするかどうかを設定します。

「成り行き」「常にする」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

成り行き	能動的な改ページをしません。結果的に改ページになることはあります。
常にする	常に改ページします。
偶数終わり	偶数ページのタイミングで改ページします。
奇数終わり	奇数ページのタイミングで改ページします。

## 第9節 前段落との空き

前の段落との間隔を設定します。

数値指定します。単位は mm と pt から選べます。

前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第10節 後段落との空き

後ろの段落との間隔を設定します。

数値指定します。単位は mm と pt から選べます。

後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

# 第2章 文字設定

フォントや文字サイズ、行の揃え方などを設定します。

## 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。

「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位は pt と % から選べます。

## 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位は mm と pt から選べます。

## 第4節 行の揃え方

行の揃え方を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。

ここでの設定は最終行以外に反映されます。最終行の設定は、下記の「最終行の揃え方」で設定します。

## 第5節 最終行の揃え方

最終行の揃え方を設定します。

「中央」「左揃え」「右揃え」「均等揃え」から選択します。

ここでの設定は最終行にのみ反映されます。最終行以外の設定は、上記の「行の揃え方」で設定します。

## 第3章 順序なしリスト (ul)

順序なしリストの書式項目を設定します。

### 第1節 ラベル

リストの各項目の先頭に付加される、ラベルの種類を設定します。

「・」「○」「□」「☆」から選択します。

## 第4章 順序付きリスト (ol)

順序付きリストの書式項目を設定します。

### 第1節 ラベル

リストの各項目の先頭に付加される、ラベルの種類を設定します。

「1.」「1.1」「1.A」「1-A」から選択します。

### 第2節 ラベルとボディの開始位置の間隔

ラベルとリストの項目(ボディ)の開始位置との間隔を設定します。

数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

## 第3節 ラベルとボディの間隔

ラベルとリストの項目(ボディ)との間隔を設定します。  
数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

## 第5章 定義リスト (dl)

定義リストの書式項目を設定します。

### 第1節 ラベルとボディの開始位置の間隔

ラベル(定義名)とボディ(定義内容)の開始位置との間隔を設定します。  
数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

### 第2節 ラベルとボディの間隔

ラベル(定義名)とボディ(定義内容)との間隔を設定します。  
数値指定します。単位は em (1em=1文字) と mm と pt から選べます。

## 第9篇 整形済みテキスト (pre)

整形済みのテキスト(改行文字や空白文字をそのまま利用したいテキスト)を設定します。



## 第1章 テキスト

整形済みテキストの体裁を設定します。

### 第1節 フォント

フォントの種類を選択します。

「ゴシック」「明朝」から選択します。

## 第2節 文字サイズ

文字の大きさを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は整形済みテキストを包含する項目の「文字サイズ」に対する相対値です。

## 第3節 行の高さ

行の高さを設定します。

数値指定します。単位は%です。

ここでの設定は整形済みテキストの「文字サイズ」に対する相対値です。

## 第4節 前段落との空き

前の段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

前の段落に「後段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「前段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最初の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第5節 後段落との空き

後ろの段落との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmから選べます。

後ろの段落に「前段落との空き」が設定されていた場合、この段落の「後段落との空き」とそれとを比較して、長いほうの値が使用されます。

該当段落がページまたは段の中で最後の位置にある場合、この値はキャンセルされます。

## 第6節 左インデント

段落の左端と版面との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmとem（1em=1文字）から選べます。

## 第7節 右インデント

段落の右端と版面との距離を設定します。

数値指定します。単位はptとmmとem（1em=1文字）から選べます。

## 第8節 終了後改ページ

図版と次ページとの間の改ページの有無を設定します。

「常にする」「成り行き」「偶数終わり」「奇数終わり」から選択します。

常にする	図版の直後で強制的に改ページします。
成り行き	必要に応じて成り行きで改ページします。
偶数終わり	図版のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、偶数ページで改ページします。
奇数終わり	図版のページが奇数・偶数のいずれかにかかわらず、奇数ページで改ページします。

## 第2章 背景

整形済みテキストの背景の体裁を設定します。

### 第1節 背景の罫線の種類

背景の罫線の線種を設定します。

「実線」「二重線」「点線」「破線」「なし」から選択します。

「なし」を選択した場合、「背景の罫線の色」「背景の罫線の太さ」は設定しても無効です。

### 第2節 背景の罫線の色

背景の罫線の色を設定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

### 第3節 背景の罫線の太さ

背景の罫線の太さを設定します。

数値指定します。単位はmmとptから選べます。

### 第4節 枠とテキストとの間隔

枠と図版との間隔を設定します。

数値指定します。単位はmmとptとem（1em=1文字）から選べます。

### 第5節 背景色

枠の背景色を指定します。

「変更」ボタンを押下し、開いた「色を選択」ダイアログにて、任意の色を設定してください。

## 第10篇 PDF設定

作成されたFOやXMLをPDFに出力する設定をします。



## 第1章 Apache FOP用のPDF出力のオプション

ここでは、Apache FOPのPDF出力の設定について説明します。

## 第1節 文書を開くパスワード

作成されたPDFを開く際にパスワード設定が必要な時に文字を設定します。  
空欄の場合は作成されたPDFを開く際パスワードを確認しないPDFになります。

## 第2節 権限パスワード

作成されたPDFを権限つきで開く際にパスワード設定が必要な時に文字を設定します。  
空欄の場合は作成されたPDFを開く際権限を確認しないPDFになります。

### 第3節 印刷不可にする

作成されるPDFが印刷可・不可を設定します。  
通常は印刷が可能なPDFを出力する設定になります。

#### 第4節 変更不可にする

作成されるPDFのデータが変更可・不可を設定します。  
通常は変更が行えるPDFを出力する設定になります。

## 第5節 コピー不可にする

作成されるPDFの内容がコピー可・不可を設定します。  
通常はPDFの内容がコピー可能な設定になります。

## 第6節 注釈やフォーム追加を不可にする

作成されるPDFに注釈やフォーム追加の可・不可を設定します。  
通常はPDFの注釈やフォーム追加の可能な設定になります。

## 第2章 AH Formatter用のPDF出力のオプション

AH Formatter用のPDF出力の設定をします。

Formatterでは、印刷用の規格PDF/Xや長期保存用の規格PDF/Aなどの形式の指定を始め、種々の設定が可能となっています。

なお、PDF/Xを指定した場合には、次の点に注意してください。

- ・ 埋め込みが許可されていないフォントを使用している場合、PDF/Xは生成されない。
- ・ PDF/Xとは相容れない設定がされていた場合、その設定は無視されて適切なものが選択される。
- ・ PDF/X-1aを指定した場合、RGB画像はCMYKに変換される。

PDF設定に関しての詳しい内容は、次のアンテナハウス株式会社のWebサイトをご覧ください。

<http://www.antenna.co.jp/AHF/v5help/v52/ja/docs/index.html>

このマニュアルの元データは、JepaX文書作成ツール「Jepasspo」で作成したJepaX文書です。

元データはサンプル「FANTaStIKK\_manual\_1\_0\_10.xml」として添付されています。ファイル作成に当たっては、FANTaStIKK1.0.10を使用しました。PDFファイルのプリセットは「マニュアル」、EPUBファイルのプリセットは「EPUB」です。

※Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国とその他の国における商標または登録商標です。

※Macintosh, MacOS X は、米国Apple Computer, Inc.の米国とその他の国における商標または登録商標です。

※Linux は、Linus Torvaldsの米国とその他の国における商標または登録商標です。

※Fedora は、米国Red Hat Inc.の米国とその他の国における商標または登録商標です。

※Java は、米国Oracle, Inc.の米国とその他の国における商標または登録商標です。

※その他本書に記載の会社名や商品名などは各社の商標または登録商標です。本文中では<sup>TM</sup>、R、cなどのマークは特に明示しておりません。